

## 国際交流員報告書

CIR 代表 ブライアン・オルソン  
会長 セラ・リネカー

### はじめに

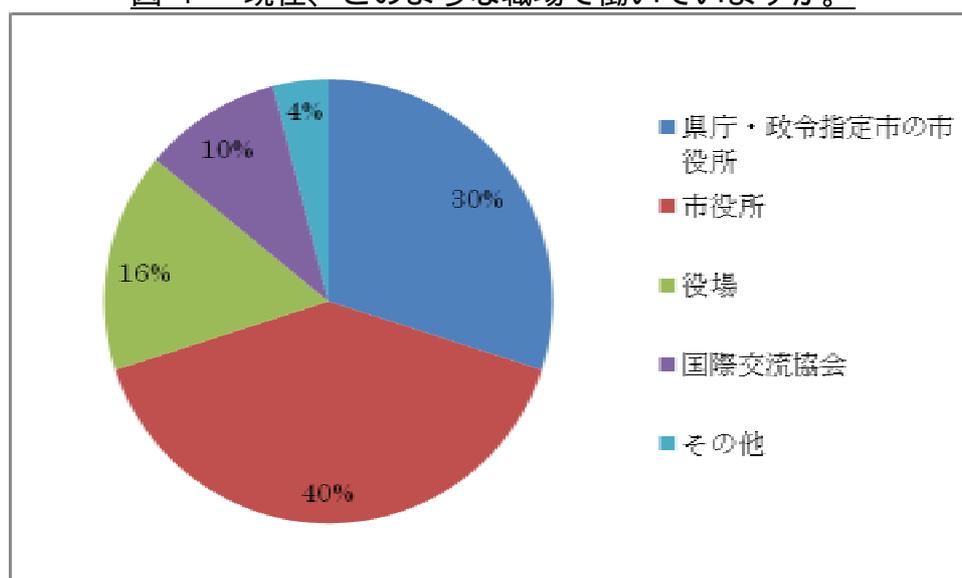
JET プログラム参加者の人数の減少に伴って、近年 CIR の人数も減っています。CIR(国際交流員)の人数は ALT (外国語指導助手) の人数に比べ、より少ないので、JET プログラム参加者の人数が減ることは CIR に対してとても大きな影響を与えます。その対策として、地域の国際交流、及び JET プログラムを推進するため、CIR がどのような活動をしているかについて、調べています。

このレポートの目的は CIR がどのような活動をしているか、そしてその活動をどのように今後推進していくかを発表することです。このレポートは CLAIR、三省のためだけではなく、各契約団体や JET プログラム参加者が地域でより活躍できるように、情報を紹介するためのものになると考えております。

### 方法

このレポートで使われている調査データ、そしてその分析は 2009 年 4 月に行われた調査に基づいています。回答者は現在 JET プログラムに参加している CIR の 50 人です。その中で、ほとんどの回答者(88%)は英語圏の人です。その影響でレポートが英語圏の CIR 向けの傾向が出てしまいますので、分析は英語圏ではない CIR の状況には不適切かもしれません。

図 1 - 現在、どのような職場で働いていますか。



ほとんどの回答者は市役所と県庁・政令指定市の市役所で働いている CIR です(図

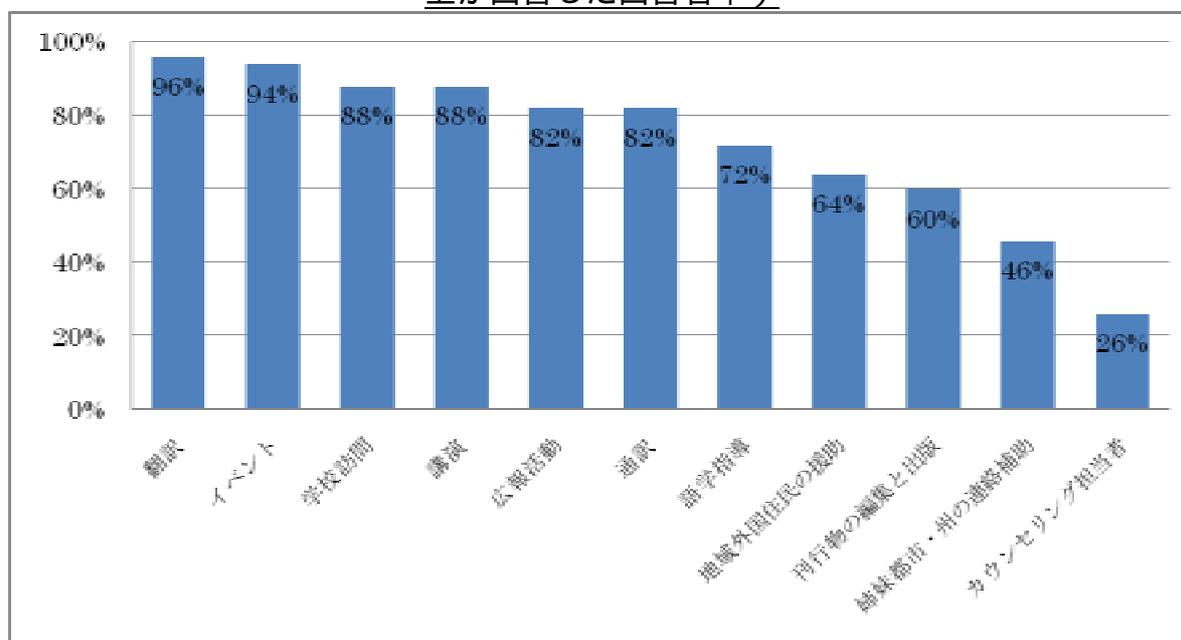
1)。役場と国際交流協会の回答者率は少ないです。一番多くの回答者は1年目のCIR(44%), 2番目は2年目のCIR(34%)でした。

JETプログラム参加者用ハンドブック(2008 GIH)の第3章「仕事」に書いてあるCIRの職務に基づいて、「以下の職務をCIRの仕事としてどのくらい行いますか。」と「自分の職務は地域の国際化を進めることに対して、どのくらい貢献していると思いますか。」という質問について回答をもらいました。調査は24問あり、「はい」と「いいえ」の二択、リッカート尺度(1-5の回答で、5は最高で、1は最低)、リストから選択、自由に書くなどの回答方法を利用しました。さらに、回答者にメールでやりとりをして、詳しい情報をもらうことが出来ました。

### CIR 活動

CIRはどのような活動をするかに対して、学校訪問、翻訳、講演、広報活動、通訳、語学指導、イベント、姉妹都市・州の連絡補助、刊行物の編集と出版、地域外国住民の援助、カウンセリング担当者、その他という活動について回答をもらいました。頻度としては全くしない、めったにない、よくする、ほとんどするという選択を選ぶことが出来ました。。

図2 以下の職務をCIRの仕事としてどのくらい行いますか。(めったにない以上が回答した回答者率)



職場(県庁・政令指定市の市役所、市役所、役場、国際交流協会)に分けると、ある傾向が見えます。各職場のCIRがある活動をよくしているか、していないかという傾向は図3に書いてあります。

図 3 - 職務を CIR の仕事としてどのくらい行う傾向・職場別

	県庁・政令指定市の市役所	市役所	役場	国際交流協会
行う確率が高い	翻訳	イベント	語学指導	イベント 学校訪問
行う確率が低い	学校訪問 イベント	刊行物の編集 と出版	翻訳	語学指導

地域の国際化を進めることに対して、CIR としての活動はどのくらい貢献していることについて、回答者はほとんどの活動が国際化に貢献しているとやや感じていると回答しました（図 4）。国際化を進めることに対してもっとも貢献している活動はイベントです。2 番目は学校訪問、3 番目は姉妹都市・州の連絡補助です。国際化を進めることに対してもっとも貢献していない活動は翻訳です。通訳、刊行物の編集と出版、カウンセリング担当者も貢献していない活動です。

図 4 自分職務は地域の国際化を進めることに対して、どのくらい貢献していると思いますか。

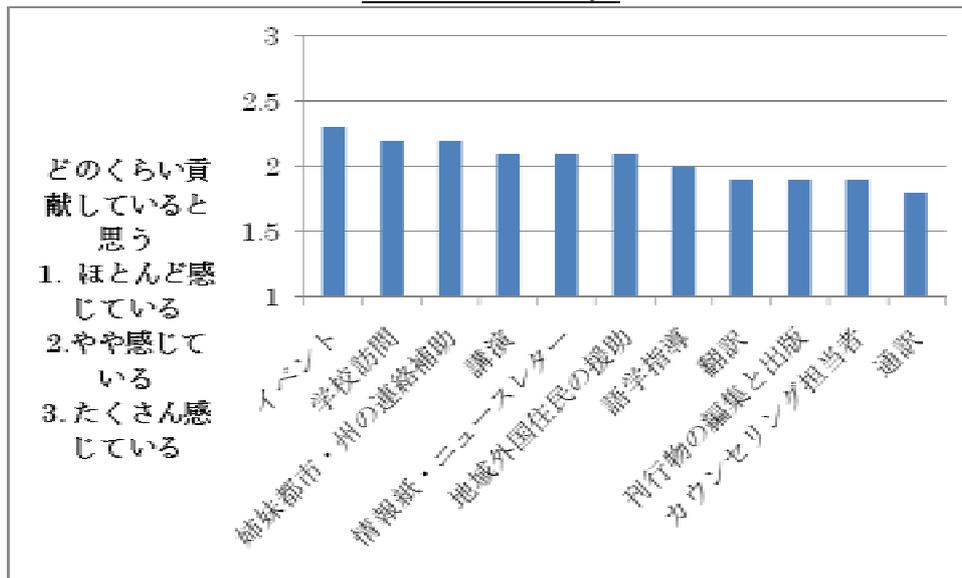


図 3 と図 4 を比べると市役所と国際交流協会に働いている CIR はもっとも貢献していると感じた活動（イベントや学校訪問）をやっていることがわかります。一方、県庁・政令指定市の市役所で働いている CIR はそういう活動を行っていません。むしろ、もっとも貢献ではないと感じた活動（翻訳）を多く行っています。

## 新しい事務

図5 - 自分で最初から新しい業務を始める自由はどれくらいありますか。 / 契約団体から新しい業務の許可をもらうことは、どれくらい難しいですか。

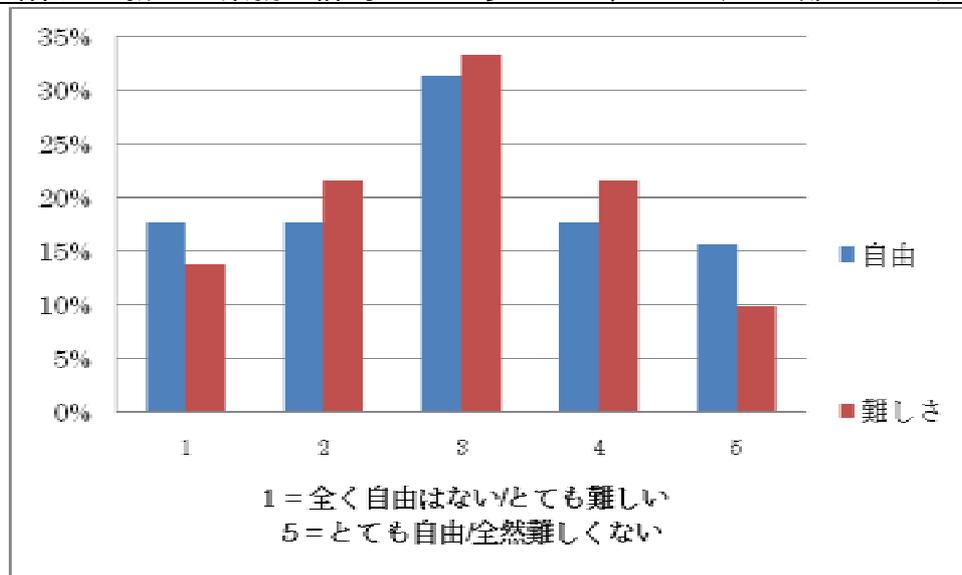


図5のデータは正規分布に従っています。新しい事務に対して、契約団体から許可をもらうこととCIRが自由であることは関連がありません。つまり、契約団体により、ケース・バイ・ケースです。しかし、自由・難しくない傾向はCIRがJETプログラムを推進するためには、より望ましいことでしょう。

「新しい業務を始めることに対する障害について説明してください。」という質問に対して、時間・仕事量、予算、事務の内容、参加者、契約団体から批判、県庁の方法、CIRに対する契約団体の態度、在住外国人に対して言葉の問題、サポートがないなどの回答をもらいました。

上記の障害の中、もっとも述べられたのは予算です（回答者の34%）。各契約団体は予算が縮減されています。その中、新しい事務を始めることに対する悪い影響としてゼロ予算の制限が増えたことが容易に考えられます。あるCIRの回答者は

「予算が0じゃなければプロジェクトは不可能。」と回答しました。（1年目、県庁・政令指定市の市役所）

CIRは現在の不景気からも影響を受けています。ある回答者は

「はじめられた事務のすべては予算がないし、自分でやらなければならないことでした。現在の不景気で予算が必要な事務をはじめようとするのは無駄です。」と回答しました。（1年目、市役所）

時間がない・仕事量が多いという障害は2番目に多い回答です（回答者の29%）。さまざまな事務でCIRは忙しい状況にあります。そういうCIRは新しい事務をはじめるのが困難です。あるCIRは：

「時間は障害です！私は市役所で働いている CIR と違って、翻訳や通訳の仕事がありませんが、学校訪問、毎月の広報、たくさんのイベントなどで時間がありません。」（1年目、役場）

上記に書いてある予算の障害に関連して、「予算の問題で自分の仕事がなくなるという不安がありましたか。」という質問を CIR に聞きました。全般的に回答者は「いいえ」と回答しました（63%）。しかし、役場で働いている CIR の 63%が「はい」と回答しました。

### CIR 活動に対して、職場・地域の認識

職場または地元の地域では CIR としての活動がどれくらい認識されているかについて CIR が回答しました。全般的に職場と地元の地域は CIR としての活動が認識されていません（図 6 と 7）。

図 6 職場では CIR としての活動がどれくらい認識されていると思いますか。

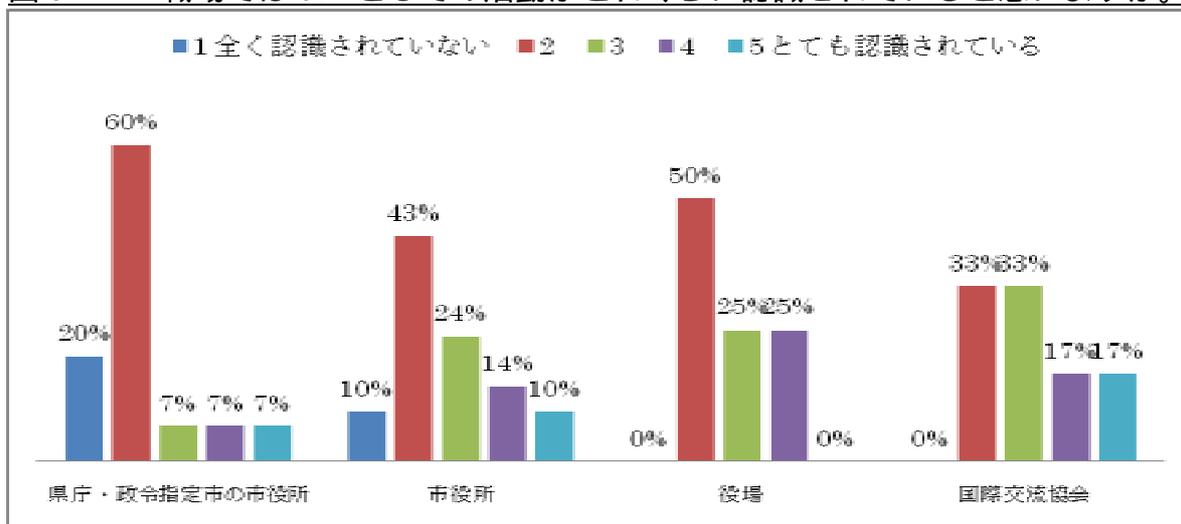
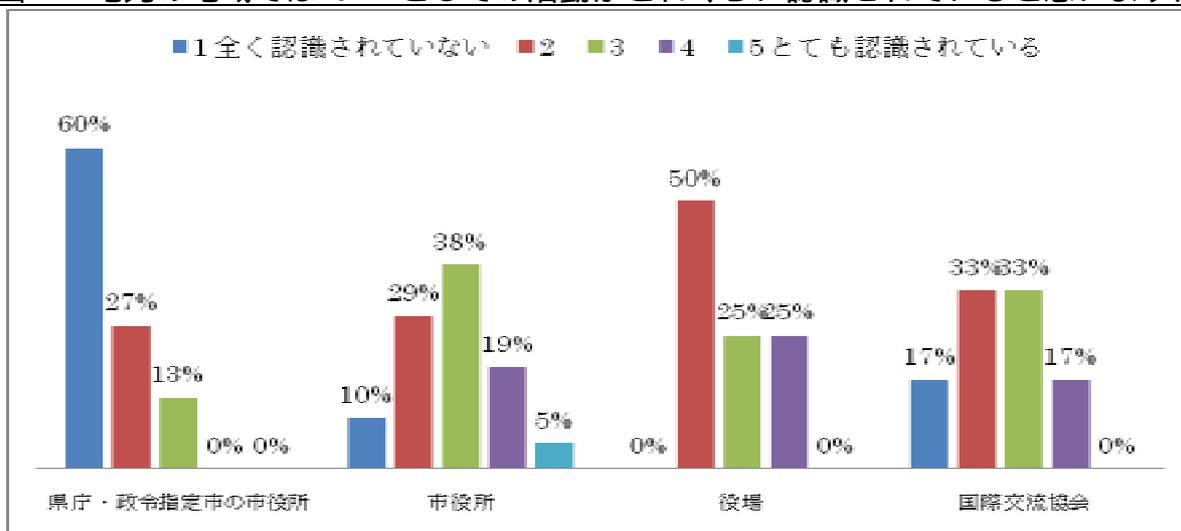


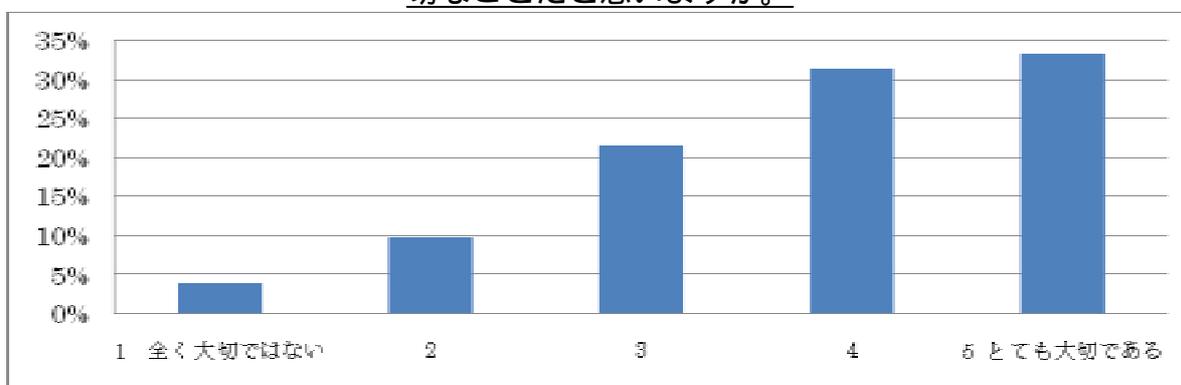
図 7 地元の地域では CIR としての活動がどれくらい認識されていると思いますか。



県庁・政令指定市の市役所で働いている CIR のほうが、他の職場で働いている CIR より、職場と特に地元の地域に CIR としての活動が認識されていないと回答しました。これは以前述べた国際化を進めることに貢献している活動（図 3、4）をやっていないからかもしれません。国際化の活動と地域の認識は関係があるでしょう。

「地元の地域から CIR としての活動が認識されていることはどれくらい大切なことだと思いますか。」という質問の回答は図 8 が示しています。ほとんどの回答者は地元の地域から CIR としての活動が認識されていることは大切だと回答しました。しかし、大切だと思われても、地元の地域から認識されていません。これは CIR の活動が地域にうまく広報されていないことを表しているのでしょう。

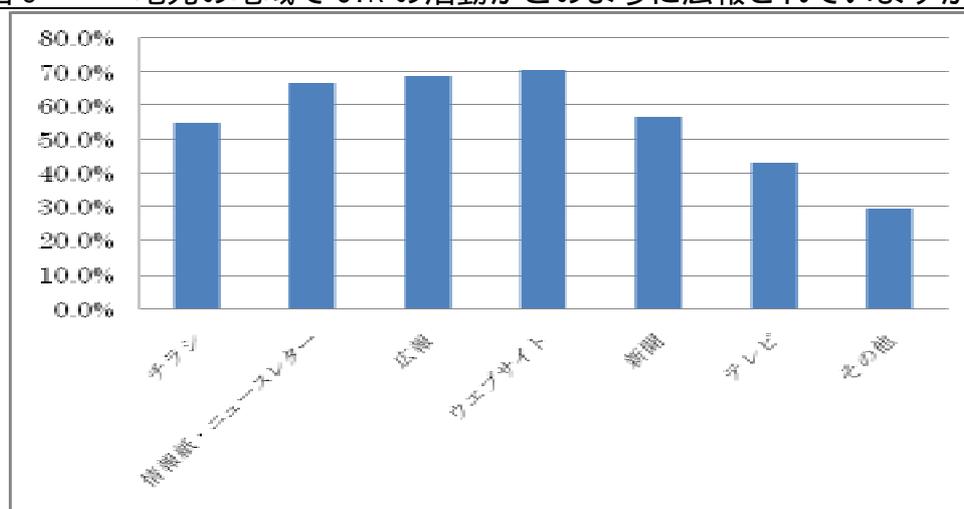
図 8 地元の地域から CIR としての活動が認識されていることはどれくらい大切なことだと思いますか。



## CIR 活動の広報

図 9 は CIR の活動がどのように広報されているかを示しています。

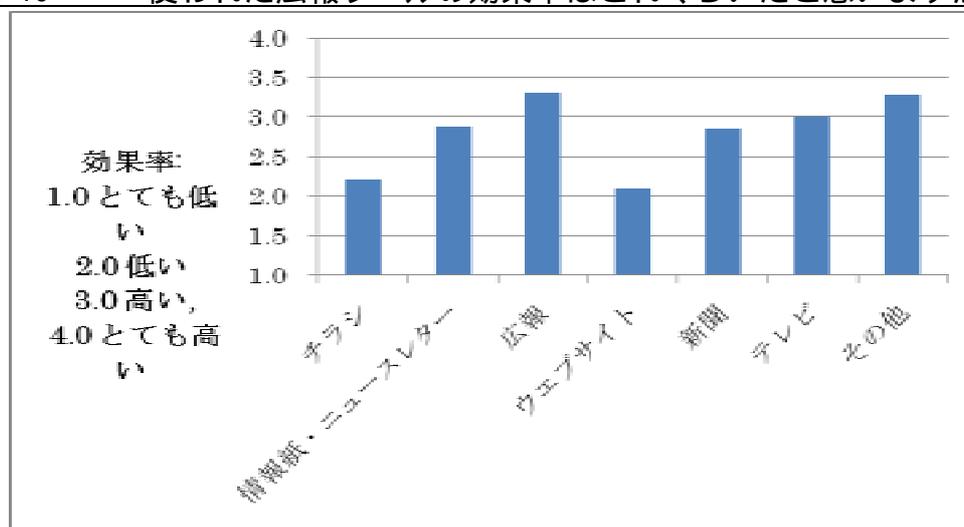
図 9 地元の地域で CIR の活動がどのように広報されていますか。



多くの回答者（65%以上）はウェブサイト、広報と情報紙・ニュースレターを利用しました（図 9）。テレビを利用する回答者はあまりいませんでした。その他の回答は口コミ、メールとラジオなどです。回答者は効果率的に広報が効果率が高いと回答しました（図 10）。しかし、回答者は一番使われたウェブサイトの効果率が低いと回答しています。さらに、効果率が高いテレビと新聞は多く使われていません。テレビや新聞などの活用により、地域での CIR の活動の広報は、もっとうまくできるでしょう。

回答者の 69%は自分のイベントなどがマスコミに報道されました。その中、69%が新聞に、50%がテレビで報道されました。マスコミに報道されることは、CIR の活動や JET プログラムにとって励みとなるでしょう。

図 10 使われた広報ツールの効果率はどれくらいだと思いますか。



## 結論

全国 AJET は CIR 活動の全てが大切だと認めます。翻訳とカウンセリング担当者の活動は国際化をあまり進まないが、このような活動で契約団体に貢献しています。しかし、CIR と JET プログラムを推進するため、イベントや学校訪問などのような国際化を進める活動を CIR に推奨すべきです。

新しい活動を始めようとする際、契約団体の予算などの事情に考慮しなくてはなりません。予算がないか、少ない活動を CIR に推奨すれば良いでしょう。イベントなどは地域で CIR の活動が認識されるのに良いし、草の根の国際化にも良いです。地域で国際化を推進するだけでなく、職場でも国際化を進める活動を CIR に推奨すべきです。

CIR こそが自分の活動を広報するよう、マスコミを利用できる立場にいます。マスコミは CIR の各イベントと活動を報道する傾向を見せ、CIR がマスコミを利用するように推進すべきです。



## 第1のケーススタディー：「雪の中へ飛び出そう」 イベント

多くの役場で働いている回答者は予算の問題で自分の仕事がなくなるという不安がありました。ドミニック・アボードさんは秋田県小坂町の役場で働いている CIR です。アボードさんが企画した「雪の中へ飛び出そう」という活動はゼロ予算で地域の地域に CIR の職を広報できるイベントの実例です。

アボードさんが「雪の中へ飛び出そう」を企画した目的は町の児童向け雪遊びを通し、近隣の ALT と CIR に親しむことと母国の雪遊びを紹介しあい、国際交流を図ることです。4 人の ALT の協力をもらい、放課後子ども教室の 30 人の児童が参加し、イベントを開催しました。参加者は雪だるまコンテスト、雪玉バスケットボール、雪合戦などのゲームで英語に親しむことが出来ました。

このようなイベントは地域に CIR の活動を広報できる機会になります。アボードさんは「町の児童や住民が『雪の中へ飛び出そう』のようなイベントに参加したら CIR との交際で国際交流が出来ます。それは JET プログラムの目的の一つです。学校以外で開催する活動は『JET プログラム参加者は英語の先生』という考え方を変えることが出来ます。CIR はもっといろいろなことに貢献することができます。国際交流イベントなどで人々がそれに気づくと思います。」とおっしゃいました。

契約団体も CIR も参加者の人数と様子でイベントが成功したと判断しました。アボードさんは「参加者からまた来年を行いますかと聞いていただき、参加者の保護者からお礼の連絡もいただきました。スタッフにも参加者にもとても有意義なイベントだったと思います。」とおっしゃいました。「雪の中へ飛び出そう」は児童や保護者に CIR の活動を広報しただけではなく、秋田テレビのニュースにも出ました。放送が「国際交流員」の言葉をよく使い、アボードさんもインタビューを受けました。

アボードさんは CIR としての各活動と同じく、このイベントが CIR の職を推進していると感じています。アボードさんは「『雪の中へ飛び出そう』の成功はこの町で CIR の必要さを意識させることになると思います。小坂町は小さな町ですが、国際的な雰囲気を持っています。契約団体と町の住民はそれが CIR のイベントや活動のおかげであると感じているのです。」とおっしゃいました。

アボードさんが強調したことはこのイベントの予算がゼロだということです。新しい事務に対して、回答者の一番多い障害は予算がないということです。このイベントはただ一つのゼロ予算で成功した実例です。アボードさんは「たくさんの CIR は予算がないからイベントの企画ができないと言います。しかし、このイベントと他に私が企画したイベントはそうではないということを示していると思います。ほとんどの場合、目的を達成するために予算は全く必要ではないと思います。」とおっしゃいました。CIR は予算がなくても CIR または JET プログラムの推進ができるのです。

## 第2のケーススタディー：Bonnie's ミニ国際知識 ニュースレター

職場で CIR としての活動があまり認識されていません。ボニー・マクルーアさんは横須賀市の市役所で働いている CIR です。彼女は職場内のニュースレターを始めとして、職場内での CIR の認識を高めました。このケーススタディーの CIR 活動は予算がなくても CIR の職を推進できる活動です。

1 週間に 1 回の「Bonnie's ミニ国際知識」というニュースレターは市職員用の掲示板に載せています。約 4000 人の市職員がニュースレターを読めます。ニュースレターに日本語でマクルーアさんが地域について気づいたことや挨拶、外国の文化についての記事、そして英語の慣用句の説明という情報が出ています。以前には、カンボジアの伝統的なことわざ、アメリカの州名の語源説明などを紹介しました。

市職員の読者数は多いようです。マクルーアさんは「別の部署の職員に会うとき、必ずニュースレターの読者がいます。」とおっしゃいました。マクルーアさんはニュースレターが成功したと思っています。自分または課長が市職員からニュースレターに対する多数の好評をもらいました。

ニュースレターの成功で、職場で CIR がもっと認識されるようになりました。「これ以上 CIR を推進できる活動はないでしょう。職場で私が存在していることや CIR として活用ができることを認識している市職員がたくさん増えました。別の部署の職員に会うとき、私の名前を聞いたら「あ！あなたはボニーさん！」と言います。ニュースレターから名前が知られているからです。」

時間がない・仕事量が多いということは新しい事務に対しての障害です。マクルーアさんもその障害があります。「主には翻訳の仕事をしているため、時間が必要です。新しい活動を始めるのは難しいことです。」しかし、この障害があってもニュースレターを始めることが出来ました。



## 討議の質問

1. CLAIR のほうから JET プログラム推進の活動についての説明をいただけますか。特に CIR の職種に関する推進についての説明をいただけますか？
2. マスコミの利用は CIR の活動や JET プログラムの推進に対し良い方法だと思います。CLAIR は CIR がもっと効果的にマスコミを利用するための研修を提供することは可能でしょうか。
3. CLAIR の意見では JET プログラムを最も効果的に推進することができる JET プログラムの特徴は何だと思えますか。総務省の意見では？これに関し、CLAIR または、総務省が CIR の推進に、役に立つ資料や情報などを持っていますか。
4. JET プログラム推進のため、契約団体の協力は不可欠です。しかし、全国 AJET は JET プログラム参加者しか調査できません。CLAIR または、総務省が契約団体から CIR 活動について、例えば、契約団体にとってどのような活動が大切かなどという意見を求める方法はありますか。
5. 本年、国際交流員ハンドブックが改訂されています。改訂された版にはゼロ予算で地域の国際化を進め、CIR が実施できる活動の実例が含まれていますか。
6. JET プログラムフォーラムは JET 参加者が情報などを交換できる場所として非常に良いですが、利用者が少ないようです。全国国際交流員ネットワークも同じようなフォーラムを管理しています。当レポートの結果、全国 AJET は情報や知識を交換できるため、上記のフォーラムを利用するよう、CIR に勧めたいです。CIR が助け合うことができるため、CLAIR もフォーラムを推奨することは可能でしょうか。



## 付録

### Bonnie's ミニ国際知識 Vol. 15

ボニーは日曜日、たけのこ BBQ に参加しました！  
たけのこ天ぷら、たけのこみそ焼き、タンポポ・三つ葉・雪ノ下天ぷらなど、  
新鮮なものをいっぱい食べて、大変美味しかった。

ボニーは自然界のなかで育ったから、今の街中生活をしている間に心が半分寝ているけど、  
山中の竹林に行ったらその寝ている半分か起きられました。  
生きていることをとても感じた一日でした。

### 今週の国際文化ファクト

#### 日本の国際ランキング

色々な面白い国際ランキングがありますが、今日はその中から大きな6つを説明します。

1) 国際連合の人間開発指数(United Nations Human Development Index) は、国の富・健康・教育の発展レベルを測ります。2007-2008 のランキングで、日本は180カ国の8位でした。上位3カ国は上からアイスランド・ノルウェー・カナダで、下位3カ国は下したからシエラレオネ・中央アフリカ共和国・コンゴ民主共和国です。

2) 世界経済フォーラムの世界競争力報告(World Economic Forum Global Competitiveness Index) は、国が国民に富をもたらす能力を測ります。日本は2008-2009 のランキングで134カ国の9位でした。上位3カ国は上から米国・スイス・デンマークで、下位3カ国は下したからチャド・ジンバブエ・ブルンジです。

3) 世界経済フォーラムの世界男女格差報告(World Economic Forum Gender Gap Index) は、男性に比べて女性の健康・教育・経済権限・政治的権限を測ります。2008 のランキングで、日本は130カ国の98位でした。上位3カ国は上からノルウェー・フィンランド・スウェーデンで、下位3カ国は下したからイエメン・チャド・サウジアラビアです。日本のランキングが先進国だけではなく、世界中でも低いのは、日本の女性の健康・教育のレベルが高いのに、政治的権限・経済権限が非常に低いからです。(女性の平均収入は全体的に男性の平均収入の45%で、類似業務の場合は59%です。)

4) ウォールストリート・ジャーナル/ヘリテージ財団(Wall Street Journal / Heritage Foundation Index of Economic Freedom) は、ビジネス・財産・投資・労働などの自由を測ります。日本は179カ国の19位です。上位3カ国は上から香港・シンガポール・オーストラリアで、下位3カ国は下したから北朝鮮・ジンバブエ・キューバです。



5) トランスペアレンシー・インターナショナルの腐敗認識指数 (Transparency International Corruption Perceptions Index)は、公務員・政治家がどの程度腐敗していると認識されるかの指数です。2008 のランキングで、日本は180カ国の18位でした。上位3カ国は上からデンマーク・ニュージーランド・スウェーデンで、下位3カ国は下したからソマリア・ミャンマー・イラクです。

6) 国境なき記者団報道の自由ランキング (Reporters without Borders Worldwide Press Freedom Index) の2008 ランキングでは、日本は173カ国の29位でした。上位3カ国は上からアイスランド・ルクセンブルグ・ノルウェーで、下位3カ国は下したからエリトリア・北朝鮮・トルクメニスタンです。日本のランキングが先進国にしては高くないのは、記者クラブのシステムのせいでニュースの自由報道が妨害されているからです。しかし、右翼団体からのメディアに対する激しい攻撃が最近減ったということで、2007年の42位から上がりました。

#### 今週の英語慣用句

1) “early bird” 「早朝の鳥」

意味：早起きの人

例：“He’s an early bird; he gets up at 5:00 a.m. to go jogging.” 「彼は早起きの人で、午前5時に起きてジョギングに行っている。」

2) “night owl” 「夜間のふくろ」

意味：夜型の人

例：“I’m both a procrastinator and a night owl, so I do my best studying at 3:00 a.m. the same day as the test.” 「私はぐずの常習犯の上に夜型だから、テストの当日午前3時の勉強が一番効きます。」